



# 平成30年5月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月10日

上場会社名 ライク株式会社  
 コード番号 2462 URL <https://www.like-gr.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 泰彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 我堂 佳世  
 四半期報告書提出予定日 平成29年10月13日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 06-6364-0006

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年5月期第1四半期の連結業績(平成29年6月1日～平成29年8月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第1四半期	11,129	20.1	750	146.5	984	114.5	395	92.5
29年5月期第1四半期	9,264	79.4	304	6.8	458	57.3	205	85.9

(注) 包括利益 30年5月期第1四半期 557百万円 (132.0%) 29年5月期第1四半期 240百万円 (84.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第1四半期	21.07	20.69
29年5月期第1四半期	10.99	10.80

(注) 平成29年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。1株当たり四半期純利益、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当該株式分割が前連結会計年度の期首に実施されたと仮定し算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年5月期第1四半期	23,109	8,285	29.3
29年5月期	24,642	7,920	26.6

(参考) 自己資本 30年5月期第1四半期 6,769百万円 29年5月期 6,566百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期		18.00		18.00	36.00
30年5月期					
30年5月期(予想)		10.00		10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成29年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。平成30年5月期(予想)の1株当たりの年間配当金は、当該株式分割を考慮した額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の平成30年5月期(予想)の1株当たりの年間配当金は40円となります。

## 3. 平成30年5月期の連結業績予想(平成29年6月1日～平成30年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,000	15.6	900	12.3	1,300	36.1	600	7.1	31.98
通期	47,000	17.3	1,780	16.7	3,250	30.4	1,400	72.8	74.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成30年5月期(予想)の1株当たり当期純利益については、「2. 配当の状況」に注記した株式分割を考慮した額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の平成30年5月期(予想)の1株当たり当期純利益は149.23円となります。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年5月期1Q	20,041,600 株	29年5月期	20,037,000 株
30年5月期1Q	1,274,406 株	29年5月期	1,274,406 株
30年5月期1Q	18,764,764 株	29年5月期1Q	18,687,818 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

(注)平成29年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。株式数は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に実施されたと仮定し算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 当社は、平成29年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。

(2) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不確実性に留意する必要性はあるものの、雇用・所得環境の改善が続く中、景気は緩やかに回復していくことが期待されております。その一方で、急速に進む少子高齢化、人口減少が最大の課題と認識されており、教育負担の軽減等の人づくり革命における「人生100年時代構想会議」の立ち上げや、労働生産性を高める「生産性革命」に取り組む意向が示されております。

このような状況のもと、当社グループでは、人生のどの段階においてもなくてはならない企業グループを目指し、子育て支援サービス事業、総合人材サービス事業、介護関連サービス事業において、就業人口の増加と、高いサービス品質で利用者様から選ばれ続ける保育・介護施設の運営に注力することで、人材不足、待機児童、介護離職といった社会的な課題の解決に取り組むとともに、事業の拡大に邁進いたしました。

さらに、平成29年8月1日に、連結子会社で子育て支援サービス事業を営むサクセスホールディングス株式会社及び株式会社サクセスアカデミーを、それぞれ、「ライクキッズネクスト株式会社」及び「ライクアカデミー株式会社」へ商号を変更し、全ての主要な事業会社において、求職者様、スタッフ様、保育・介護施設の利用者様、顧客企業様、株主様、従業員等全てのステークホルダーに愛される企業グループでありたいという気持ちを込めた

「LIKE（ライク）」ブランドへの統一が完了いたしました。引き続き、グループシナジーの最大化を図るとともに、人材育成を強みにする企業グループとして従業員の確保と育成に注力し、平成28年7月13日に公表いたしました平成29年5月期から平成31年5月期までの中期経営計画の達成を目指してまいります。

以上の結果、第1四半期連結累計期間の業績は、売上高111億29百万円（前年同期比20.1%増）、営業利益7億50百万円（同146.5%増）、経常利益9億84百万円（同114.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億95百万円（同92.5%増）となりました。

各セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## (総合人材サービス事業)

総合人材サービス事業につきましては、多くの企業において人材の確保が深刻な課題となる中、主に連結子会社であるライクスタッフィング株式会社において、販売員が不足するモバイル・アパレル等のサービス業界、インターネット販売の普及等に伴い需要が逼迫しているコールセンターや物流、保育士・介護士の不足が社会問題化している保育・介護業界を中心に事業の拡大に努めました。業務経験や社会経験の浅い方や、週5日フルタイム以外の勤務を希望される方であってもご活躍いただけるよう、業界に特化し蓄積してきた知識やノウハウを活かし、マッチング・就業フォロー・研修体制や顧客企業に対する多様な働き方のご提案等を強化し、就業人口の増加に注力いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は53億42百万円（前年同期比24.6%増）、営業利益5億22百万円（同22.6%増）となりました。

## (子育て支援サービス事業)

子育て支援サービス事業につきましては、待機児童問題と保育士不足がますます深刻化する中、認可保育園や学童クラブ等の運営と、企業・病院・大学等が設置する事業所内保育の受託運営を行う連結子会社であるライクキッズネクスト株式会社及びライクアカデミー株式会社において、引き続き、保護者様・お子様に選ばれ続ける高品質の保育とご利用いただきやすい立地や設備を備えた新規施設の開園と、人材確保に悩む事業者様に対する事業所内保育のご提案に注力いたしました。また、ライクスタッフィング株式会社との連携により採用機能を強化するとともに、保育士が働きやすい環境を作ることを重視した本部体制の構築により定着率の向上を図りました。認可保育園2ヶ所の新規開設による費用が発生したものの、補助金の増額等もあったことから収益性が改善いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は42億66百万円（前年同期比21.5%増）、営業利益3億40百万円（前期は22百万円の営業損失）となりました。

## (介護関連サービス事業)

介護関連サービス事業につきましては、神奈川県・東京都・埼玉県といった首都圏において24時間看護師が常駐し看取り介護を行う有料老人ホームを運営する連結子会社であるライクケアネクスト株式会社において、平成29年6月に実施した一部施設の増床により費用が発生したものの、入居率が順調に向上いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は13億87百万円（前年同期比5.1%増）、営業利益56百万円（同50.8%増）となりました。

(その他)

マルチメディアサービス事業におきましては、直営携帯電話ショップ2店舗において、引き続き販売強化に努めました。当第1四半期連結累計期間における売上高は1億32百万円(前年同期比8.7%減)、営業利益は3百万円(同48.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産につきましては、未払消費税等、未払法人税等の納税及び借入金の返済等に伴う現金及び預金の減少12億47百万円、のれんの償却に伴う減少が1億46百万円発生したことにより、前期末に比べて15億32百万円減少し、231億9百万円となりました。

負債につきましては、未払法人税等の減少1億94百万円、未払消費税等の減少7億34百万円、長期借入金の減少2億78百万円等があったことにより前期末に比べて18億97百万円減少し、148億24百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により3億95百万円増加、非支配株主持分1億61百万円等増加したものの、配当金の支払1億68百万円により、前期末に比べて3億64百万円増加し、82億85百万円となり、自己資本比率は前期末より2.7ポイント上昇し29.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年7月14日の「平成29年5月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,915,111	4,668,031
受取手形及び売掛金	3,693,767	3,578,832
商品	3,385	3,194
原材料及び貯蔵品	4,045	3,999
繰延税金資産	326,907	326,907
その他	1,375,181	854,817
貸倒引当金	△4,864	△4,684
流動資産合計	11,313,534	9,431,098
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,412,374	5,568,332
機械装置及び運搬具(純額)	14,173	12,972
リース資産(純額)	563,835	555,697
建設仮勘定	263,171	532,613
その他(純額)	189,580	192,241
有形固定資産合計	6,443,135	6,861,858
無形固定資産		
のれん	2,953,077	2,806,776
その他	121,579	117,032
無形固定資産合計	3,074,657	2,923,809
投資その他の資産		
投資有価証券	1,070,635	1,054,929
関係会社株式	16,000	16,000
長期貸付金	783,744	817,483
差入保証金	1,596,014	1,660,216
その他	354,865	356,763
貸倒引当金	△10,112	△12,676
投資その他の資産合計	3,811,147	3,892,716
固定資産合計	13,328,940	13,678,383
資産合計	24,642,474	23,109,481

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	138,240	131,004
短期借入金	2,000,000	2,000,000
1年内返済予定の長期借入金	2,032,408	1,964,329
未払金	2,644,629	2,369,384
未払法人税等	589,318	394,788
未払消費税等	1,137,186	402,325
賞与引当金	540,814	347,548
その他	928,071	787,877
流動負債合計	10,010,670	8,397,256
固定負債		
長期借入金	4,655,429	4,377,217
繰延税金負債	94,391	91,086
資産除去債務	308,861	318,506
受入入居保証金	856,795	843,285
退職給付に係る負債	194,114	202,918
リース債務	544,770	537,021
その他	56,497	56,932
固定負債合計	6,710,860	6,426,969
負債合計	16,721,531	14,824,226
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,454,109	1,455,125
資本剰余金	1,028,742	1,029,758
利益剰余金	4,530,896	4,757,475
自己株式	△740,502	△740,502
株主資本合計	6,273,245	6,501,856
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	274,306	266,816
退職給付に係る調整累計額	18,477	495
その他の包括利益累計額合計	292,784	267,311
新株予約権	1,960	1,912
非支配株主持分	1,352,952	1,514,174
純資産合計	7,920,943	8,285,255
負債純資産合計	24,642,474	23,109,481

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成28年6月1日 至平成28年8月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成29年6月1日 至平成29年8月31日）
売上高	9,264,042	11,129,879
売上原価	7,749,682	8,937,118
売上総利益	1,514,360	2,192,760
販売費及び一般管理費	1,209,716	1,441,882
営業利益	304,643	750,878
営業外収益		
受取利息	2,243	2,012
受取配当金	1,706	1,663
投資事業組合運用益	—	2,584
設備補助金収入	156,250	223,081
その他	16,404	22,412
営業外収益合計	176,604	251,754
営業外費用		
支払利息	12,217	11,584
投資事業組合運用損	2,442	943
貸倒引当金繰入額	5,183	1,832
その他	2,557	3,986
営業外費用合計	22,401	18,346
経常利益	458,846	984,285
特別利益		
新株予約権戻入益	—	29
特別利益合計	—	29
特別損失		
事務所移転費用	—	2,619
ゴルフ会員権評価損	—	1,942
ゴルフ会員権貸倒引当金繰入額	—	731
その他	—	0
特別損失合計	—	5,293
税金等調整前四半期純利益	458,846	979,021
法人税等	195,969	378,289
四半期純利益	262,877	600,732
非支配株主に帰属する四半期純利益	57,488	205,289
親会社株主に帰属する四半期純利益	205,388	395,442



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)
四半期純利益	262,877	600,732
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28,417	△7,497
退職給付に係る調整額	5,762	△35,891
その他の包括利益合計	△22,655	△43,389
四半期包括利益	240,221	557,343
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	179,892	369,969
非支配株主に係る四半期包括利益	60,329	187,373

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。